

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

2023～24 年度年度

国際ロータリー会長 Gordon・R・McInally



## 東京麹町ロータリークラブ

### 本日の例会プログラム

第 16 回例会 2023.12.11 (#2398) 舞の間  
例会ホスト・紹介係 加賀会員  
受付係 濱田会員 浅野会員  
司会者 鈴木会員 ソングリーダー 凧会員

卓話「裏方が歌うドーム独唱  
～日本文化とクラシック音楽で平和を祈る～」

大本山弘法寺広報大使 眞壁 光明氏  
紹介者 凧会員

### 前回の報告

第 15 回例会 2023.12.4 (#2397) edo Room  
例会ホスト・紹介係 乳井会員  
受付係 山田会員  
司会者 福田会員 ソングリーダー 凧会員

卓話「空飛ぶクルマ」

エアモビリティ(株)代表取締役社長&CEO 浅井 尚氏  
紹介者 荒川会員

### 会長報告

- 1)本日は、最先端技術のお話を伺います。浅井様、後程宜しくお願い致します。
- 2)先週、配布致しましたが、クリスマス会、ポリオ根絶チャリティー公演、地区大会へのご参加ご協力をよろしくお願い致します

### 幹事報告

- 1)各種の出欠や申込みについては、期日までにお願いいたします。
- 2)今期、下半期会費の請求を配布いたしました。お納め下さい。
- 3)例会終了後に、クラブ年次総会を開催いたします。会員のみなさまは、そのままお残り下さい。
- 4)その後、定例会理事会がございます。

### 2024～2025 年度 理事役員

会長	荒川 和幸	会計	加賀 聡	青少年委員長	加賀 聡
幹事	守屋 幸作	SAA	山田 剛史	プログラム委員長	末竹 徳博
会長エレクト	細谷 彬	職業奉仕委員長	浅野 泰弘	親睦委員長	吉沢 京子
幹事エレクト	木寅 雅之	社会奉仕委員長	鈴木 健治	姉妹クラブ委員長	荘村 明彦
直前会長	齊藤栄太郎	国際奉仕委員長	吉田 弘和		

### 例会記録

会員総数 57名 出席会員数 28名  
ゲスト 1名 ビジター 1名  
その他 2名 海外ビジター 0名  
事務局 2名

### ニコニコボックス

齊藤会員:理事会宜しくお願いします  
荒川会員:本日のゲストスピーカーは浅井様です。宜しく  
細谷会員:金婚式を迎えました。あと何年もつでしょうか・・・  
内田会員:子女の就職祝い  
結婚記念日:崎山会員(7日)  
パートナー誕生日:  
木寅会員(11日)藤田会員(13日)  
中谷会員(19日)新保会員(31日)  
藤田会員:14日で50歳になりました。

### 次回予告

第17回例会 2023、12、18(#2399)

クリスマス会  
H・ニューオータニ  
1階パラッツオ

18時受付開始  
18:30～開宴



## 米山月間に因んで 米山奨学生 李 梅梓さん(10/2 卓話)



まずは家族のこと、次は日本留学したきっかけ、及び留学後の生活、研究課題、最後に今の奨学生生活の順番で話させていただきます。

私は 4 人兄弟の 3 番目です。兄が 2 人、妹が一人です。一人

子政策が厳しかった都市と比べ、田舎の方は緩かったし、その上、農業は労働集約的であり、中学レベルの子どもも重要な労働力であるため、子供3人 4 人の家庭は普通でした。中国の田舎では男女差別がありました。両親は私兄弟 4 人を平等に育てくれました。

小学生の時は、両親は段ボールの工場を経営しながら、梨農業を営みました。その時は何不自由のない暮らしをしていました。中学入って 1 年目の時に、両親も含めて、村の多くの工場の生産者は製紙会社に投資しました。しかし、社長さんが会社のお金を横領して逃げられました。その後、両親は多額の借金を抱え、資金繰りが悪化した結果工場は経営難となり工場を閉鎖しました。その事件以来、私たちの生活も一変しました。それでも、両親は親戚からお金を借りて、私と妹を大学に行かせてくれました。兄はヤンキーだったし、勉強は嫌いでした。両親の話が全然聞いてくれなかった。そして、同級生と喧嘩したことで中学に退学され、働き始めました。今大人になり、勉強しなかったことにすごく後悔しています。両親は 3 年前に、借金をすべて返済が終わりました。兄たちは 5、6 年前に起業して、頑張っています。妹は兄の会社で会計の仕事をしています。

私は日本留学したきっかけは、高校時代の友人が、高校卒業後日本に留学しました。彼女の影響受け、私もいつか海外に行きたいと強く思っていました。しかし、高校卒業時点では、借金を抱えている両親は、留学する費用を捻出するのは難しい状況でした。そのため、日本に留学する夢が叶えませんでした。私は中国の大学卒業後、三菱電機と提携している会社で一年間働きました。そこでは日本人の仕事に対する誠実な姿勢を実際に目にする事となりました。このときに改めて、日本への留学を強く望むようになりました。その時から、仕事が終わった後、日本語教室に通い始めました。

友達と日本留学フェスのイベントをで、日本語学校のアドミッションオフィスのスタッフと知り合い、無料で留学の手続きをサポートしてくれると約束されまして、留学を決意しました。その時の留学費用は、友達から借りました。日本語学校の学費と日本での生活費合計 100 万円でした。

家族に、生活費と学費は自分で稼ぎますと表明しました。そのため、留学のことは家族誰も反対されませんでした。そして、30 万円を持って、日本に来ました。その時は、30 万円がなくなったら、どうしようという心配する暇もなく、荷物整理したすぐアルバイトを探しはじめました。幸運にも、1 週間で、居酒屋のアルバイトを見つけました。店長が非常に親切で、面接のとき、私が理解できるように、漢字を書きながら、バイト代、服装などを説明くれました。日本語は下手だったので、最初はシフト週 2 日しか割り当てられず、一つのアルバイトの収入だけでは学費と生活費を賄えなかったため、コンビニのアルバイトも始めました。日本語学校の時は、収入を増やすためにかけもちをしました。

上智大学に入学後、2 年生の時に塾で営業の仕事をしました。営業の給料は業績に応じて変動するため、給料が高かったです。当然、給料の高い仕事は競争も激しいし、学生(お客様)からの質問が多かったです。そのため、勉強に集中できず、大学の成績が落ちました。3 年生の時に、奨学金を受かったきっかけで、塾のアルバイトをやめました。

上智大学に入る前に、国際協力の仕事に興味を抱いており、大学で国際協力の授業を受ける中で、国連や JICA で働く人々の話を聞き、将来国際協力の仕事を志すようになりました。その影響で、将来、国際協力の仕事をしたいと決めました。そして、4 年生の時には、アメリカに 4 ヶ月間の交換留学を経験し、帰国後に大学院に進学し、その後博士課程に進みました。

最後は研究について話します。

学部 3 年生から環境経済学を専門とするゼミに所属し、企業の生産時の炭素排出量の開示が株価に与える影響について共同研究論文を執筆しました。

気候変動が進む中、異常気象が生じる頻度とその強度が年々増加しています。これは農業被害を生み、農家の収益低下や農産物価格上昇を通じた他産業の費用と家計支出の増加を含む、経済全体への悪影響に繋がります。私の実家はなし農家であるため、気候変動が農業に与える影響について、多きな関心を持っています。そこで大学院では、気象に最も大きな影響を受ける農業に焦点を当て、気候変動が農業生産に与える影響と農家の適応行動について研究を行いました。

気候変動はお米の生産に様々な影響を及ぼします。例えば、冷害が発生すると米の生産量が減少し、その逆、高温が続くと、米は白く濁り(白未熟米)品質が低下する。そして、台風の原因で、倒伏現象が発生し、特に稲の登熟期にそれが起こると、米の生産量が減少します。

農家は、上記の気候変動による悪影響を軽減するため、耐冷性、耐高温性、耐倒伏性、耐病虫害性などの特性を持つ改良品種を導入するなどして、適応策を取ることがあります。これらの適応策が、気候変動の負の影響をどの程度軽減しているのか、実証分析が行われています。

去年は気候変動の日本の稲作生産に与える影響と稲作農家の気候変動適応行動による緩和効果について、国際学会に発表をしました。しかし、似たような論文が先に発表されましたため、こちらの論文の発表はやめました。今年、研究の方向性を変えました。ジャーナルに発表できるように頑張ります。

最後に、今の奨学生活について、話します。ロータリー米山奨学金のおかげで、アルバイトにかけける時間を減らし、研究に専念できました。以前はかけもちしながら勉強をしていました。当時は心の余裕も経済的余裕もありませんでした。奨学金のおかげで、研究の時間だけでなく、オンライン英会話の受講費用も捻出できました。今後、国際機関で働きたいため、英語能力が不可欠です。日本では、英語を使用したコミュニケーションの機会が限られています。英会話を通じて、英語コミュニケーション能力を鍛えました。11月にスウェーデンで行われる学会で研究発表する予定です。今年、残りの2か月間、論文完成できるように、最後まで粘り強く取り組みたいと思います。

そして、ロータリーの交流会を通じて、ロータリーアンとロータリー学友の方々とお話ができて、様々な刺激を受けました。皆さまが子供食堂や、子供教育などの社会貢献活動に携われ、その熱心さに感動しました。そして、研究と勉強の以外の話をでき、時事問題に違う視野と考え方を持つことは大変勉強になりました。

最後に、日本文化を深く体験できました。これからも日本での生活は長いため、いつでも日本文化を体験できると思っていましたが、気づいたらほとんどの所は行っていませんでした。ロータリークラブの皆さまのおかげで、宝塚や能と狂言などの日本伝統文化を体験できました。本当に心より感謝いたします。

ロータリー米山奨学金のおかげで、私の人生を豊かになりました。皆様の期待を応えるように、勉強と研究に励みます。今後ともよろしく願いいたします。



クラブだより No.16

次回通常例会は  
新年例会始め 1月15日 12:30~

**ポリオ根絶チャリティー公演**  
1月27日(土) 12:30 開場  
13:00 開演 (15:30 終了予定)  
亀戸文化センター3,4階  
「亀戸カメラホール」  
(江東区亀戸 2-19-1)  
JR 総武線亀戸駅北口徒歩2分  
東武亀戸線亀戸駅北口徒歩2分



東京麹町ロータリークラブ  
設立 1968年6月17日 〒102-0093  
例会日 月曜日 12:30 千代田区平河町 1-3-8  
例会場 H・ニューオータニ 平河町プラザ 204号  
TEL:03-3263-9220  
会長 齊藤 栄太郎 FAX:03-3263-9122  
幹事 藤田 進太郎 e-mail office@koujimachi-rc.jp  
会報委員長 山本 顕三 URL: www.koujimachi-rc.jp